

まちの文化財⁶⁵ ～養父神社本殿～



養父神社本殿

みると柱間が三間ある構造です。養父神社は昔から花見の名所でした。出石藩は、文化15年（1818年）3

3月5日、兵庫県教育委員会は養父神社にある建造物を兵庫県登録文化財に決定しました。市内では4件目になります。対象は養父神社の本殿と拜殿、境内にある山野口神社と五社神社の4棟の建造物です。江戸時代後期から末期に作られました。

養父神社本殿は、但馬地方を代表する大型の神社建築として大変貴重なものです。建物の規模は正面が680^号、側面が388^号です。屋根の形態は入母屋造で、正面には千鳥破風があります。大きな屋根は檜皮葺です。檜の皮を重ねて屋根を葺いた伝統工法です。銅板の屋根が多くなり現在では大変珍しい形式となりました。

山野口神社は、本殿の後方にある神社です。屋根の形は本殿と同じ切妻造になっています。五社神社は、本殿の前方にある神社で、屋根の形は、三間流造になっています。正面から

月19日、147名の大名行列を従えて桜の花見にやってきました。また文政6年（1823年）出石藩は家臣たちに、養父神社へ桜の見物に行っても村々に迷惑をかけてはいけないという通達を出しました。それほど多くの人が養父神社を訪れました。

養父神社本殿の重要性は、檜皮葺の屋根をもつ大型建造物であり、多くの豪華で精巧な彫刻が作られていることです。本殿正面には獅子・猿・龍・象に加えて、玄武・麒麟・鳳凰・力士などの彫刻があります。本殿の前に座ると、彫刻が覆い被ってくるような迫りがあります。

先人が熱意を注いで立派に作り、それを現在まで大切に保存継承されてきたものが、歴史的な価値の高い文化財となります。

（教育委員会社会教育課）

拝啓 市民の皆様

里では雪が少なく過ぎやすい冬でしたが、スキー場を抱える養父市では暖冬が恨めしく思われる残念なスキーシーズンとなりました。

私が市政を担いましてから約一年半が過ぎました。この間、国においては政権交代があり、地方はその大きな変化の中で翻弄され続けております。また、経済の冷え込みと少子高齢化、人口減少などにより活力の低下が進んでいます。本市も例外ではありません。今、三月定例市議会が始まり、平成二十二年度の市政運営の方針や予算についての審議が始まりました。この施政方針演説において、「地域経済の低迷」と「人口の高齢化と減少」という二つの大きな課題に向かっていくことを表明しました。

私がかねてから申し上げていましたこの二つの問題は、相互に関連し合っています。人口が減少すれば、消費が減り、商店が衰退します。また、若者の減少で必要な労働力が確保しにくくなると、企業の進出も抑制されます。この結果、経済の衰退が加速し、更なる人口減少の原因となっていくのです。この負の連鎖を、なんとしてでも断ち切らねばなりません。

このため、新年度では、次の二つの施策を重点的に推進したいと考えています。その一つは、地域経済の活性化です。北近畿豊岡自動車道路が平成二十四年春に養父市まで開通予定であることを踏まえ、観光・交流百五十万人を目指す「自然・文化・人の交流空間」の創造を目標に、魅力的な観光スポットづくり、交流人口の拡大を目指した取り組みを進めます。二つ目は、人口問題です。「人口三万人を目指した子どもを大切にしまちづくり・子育て支援の充実」を重点に、安心して子育てができる環境づくりを進めます。

この二つの施策の難易度は極めて高く、とても行政だけで成し遂げられるものではありません。「まちづくり基本条例」のもとに市民と行政が協働し、ひたすら叡智をしばり、工夫を重ね「まちの灯り」を一つ、二つと増やしていきましょう。

市長 広瀬 栄

「健康」 ワンポイント アドバイス



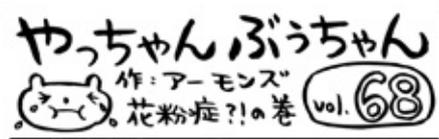
保健師
川崎 昌子

こころの元気をアップしよう ストレスコントロール法

皆さんは心の健康管理を意識して生活していますか？心の問題は、気の持ち方ひとつでどうにでもなると思われがちですが、本人に自覚が無くても、実はとても心が疲れている...という場合も多いようです。

ストレスに気がつけた方がよい時期

引越し・就職・子どもの巣



けよう

その日のストレスはその日に解消するようにし、心身のメンテナンスを日々行いましょう。週末まとめてストレスを解消しようとして、かえって疲れをためてしまうこともあるのでご用心ください。ストレスが大きすぎたり、小さなストレスもたまりすぎると、気分が憂うつになる、眠れないなどの症状が現れます。辛い時は、一人で我慢せず、誰かに相談しましょう。

養父市では、精神科医師の相談が受けられる「こころのケア相談」を実施しています。ご利用ください。

【お問い合わせ先】
養父市役所健康課健康増進係
(☎662-13167)

養父市みんなで元気になる 地域づくりフォーラムから



こんにちは 地域包括支援センターです

発表していただきました。
①宮崎吉子さん(介護予防サポーター)ようか代表)から、研修後、サロンなど集いの場に出向き介護予防の知識・技術を伝えたり体操を楽しく実施している様子。
②下村英規さん(堀畑区長)から防災訓練で要援護者支援の様子や日頃の防災活動を通じて、地域住民の防災意識を高める活動を継続している。
③中野喜美子さん(シルバー人材センター)から
元気に働ける喜びと笑顔のありがたうの言葉。心のもった姿勢で社会貢献をしたい。
④荒田志げ子さん(系原区民生委員児童委員)から
小地域福祉活動を進めるため福祉連絡会で相談しながら、サロン活動を工夫したり災害福祉マップ作成の取り組みなど。
他にボランティアグループ活動のパネル展示や、吉田村の伴奏でサポーターとともに370人の参加者と一緒「やぶからほつたいそう」を行い多くの市民に活動を知ってもらう機会になりました。

介護予防と地域づくりを目的に社会福祉協議会、シルバー人材センター、長寿の郷などと協力して開催しました。
新開省二医師(東京都老人総合研究所)の特別講演からは次のことを学びました。
元氣高齢者の共通点
◎仕事・趣味・ボランティア活動など、その人なりにできる活動を続けている。
◎外出して他者との交流を楽しんでいる。
◎適度に歩くことで下肢筋力を維持している。
実践活動報告
四名の方に各地域の取り組みを

【お問い合わせ先】
市役所介護保険課
地域包括支援センター
(☎662-17603)